



小林 航

◆ 事業評価演習 ◆

本演習では、公共経済学の理論をベースとして公共政策の評価を行うことに主眼を置いた修士論文の作成を目指し、それに向けて必要な指導を行う。その際、ミクロ経済学のモデルを扱うことになるため、その理解は不可欠であるが、初学者でも挑戦する意欲があれば歓迎する。

主な作業としては、まず、新聞記事や書籍等から追究したい政策課題を抽出し、それが公共経済学の一連の理論体系のなかでどのように位置付けられるかを探る。それを繰り返すことにより理論と現実の関係性について理解が深まり、さらに先行研究の調査も経て掘り下げるべき論点が見えてきたところで、モデル分析に着手し、新たな知見の導出を試みる。